

# 学校経営

## 1 本校教育の基本的な考え方

栗真小学校は津市街の北郊に位置し、江戸時代の参宮街道が通っている。その前身は明治7年に創立された中山学校であるので、136年の歴史を数える。校区は国道23号線を挟んで南北に細長い。地域は大別すると、南から町屋・中山・小川・小川園となっている。一部に農業に従事する人もいるが、ほとんどが勤め人である。近年は校区の南端に接する位置に三重大学があることからか、賃貸マンションやアパートの建築が進み新しい住人も増えているが、まだまだ従前からの住人が多く2世帯3世帯が同居あるいは同敷地内に住むといった家も多い。

そうしたことから、祖父母や高齢者を中心に「地域の学校」「おらが学校」という意識が強く、学校が地域文化の中心的役割を担っている面も強い。従って、保護者や地域住民の学校に対する期待は大きく、概ね協力的である。

本校の児童は、素直で明るくのびのびとしている児童が多い。児童数が少ないことも手伝って、普段から学年を超えて一緒に遊ぶ姿が見られる。こうしたところからも、小規模校の特性を生かした「縦割り班活動」を行事の中で多く取り入れ、話し合いを基盤に据えた活動を通して、子どもの自主性を育てる場となっている。また、生活科や総合的な学習での異学年集団での「かがやき学習」を通して、仲間や自らの生活を人権の視点で振り返り・考える経験を重ねていきたい。

さらに、津市教育基本方針や津市の学校教育推進計画をもとに小規模校の特性を生かし、地域の教育力を積極的に学校教育に取り入れ、より質の高い教育内容の実践を進め、子どもたち1人ひとりの健全な成長と変容していく姿を通して、保護者や地域の方々の信頼を得ていきたい。

そして、子どもたちが「栗真小学校で学べてよかった」、保護者の方々が「栗真小学校に子どもを入学させてよかった」また、教職員が「栗真小学校に勤めることができて良かった」と感じられる学校経営をめざしたい。

## 2 学校教育目標

『人間性豊かで たくましく 実践力のある 子どもの育成』

〈めざす学校像〉

- \*安全で安心できる学校
- \*笑顔のあふれる学校
- \*地域とともに歩む学校
- \*やりがい・いきがいのある学校

〈めざす子ども像〉

- \*よく考え 学び合い 学習する子ども
- \*他人を大切にし 自分も大切にする 心豊かな子ども
- \*健康で 最後まで がんばりぬく子ども
- \*進んで働き 協力する子ども

〈めざす教師像〉

- \*子どものよさと意欲を引き出す教師
- \*指導力・教師力の向上をめざして日々研鑽をつむ教師
- \*保護者・地域との連携を進める教師

### 3 学校経営方針

全校児童89名が、本校の教育活動の主役である。この子どもたちの健やかな成長に向け、教師は人間性にあふれ情熱と確かな指導力を持ち、日々学び続けなくてはならない。また、学校は共同の組織体であることから、その運営上の諸問題についてはあらゆる機会でも共通理解を図る必要がある。そのためにも、職員間のチームワークが特に大切となってくる。本校では小規模校の特質を生かして、お互いの心が開き合える温かい職場を創っていくことで、それぞれの持てる力を発揮できる学校になると考える。

こうした考えのもと、教職員が話し合い・学び合いながら保護者や地域の方々のニーズに応える教育内容の創造と社会の変化に対応した学校づくりに取り組んでいきたい。

- \*一人ひとりの子どもを大切にしたい学校づくり
- \*地域や社会と調和した学校づくり
- \*教師力の向上と教職員の組織力を生かした学校づくり

### 4 本年度の学校経営の重点事項

- \*基礎的・基本的な学習内容の定着
- \*豊かな人間性と自ら取り組む実践力の育成
- \*体験的な活動や問題解決的な学習の充実
- \*命や健康の大切さを基盤とした健康・安全・食教育の充実
- \*地域に開かれた学校づくりの推進
- \*教職員一人ひとりの学校経営への参画

### 5 本年度の努力事項

- \*教職員一人ひとりの資質の向上
- \*学び合い・高まり合う算数科学習の推進
- \*授業とくりまっ子タイム、家庭学習とを有機的にとらえ、自ら学ぶ意欲の向上
- \*子ども一人ひとりの興味や関心を大切に、学ぶ楽しさ、成就感、達成感を味わえる教育内容の創造
- \*人との出会いやふれ合いを大切に、人権に視点をおいた「かがやき学習」の充実
- \*「生きる力を育む」生活科や総合的な学習の時間の充実
- \*食教育を中心とした健康教育の充実
- \*地域や保護者に開かれた学校、地域・外部の教育力を生かした教育活動の推進
- \*全教職員の参画による組織的・機動的な学校経営